

請求異議裁判打ち切り策動許すな！

朝鮮半島での戦争危機が緊迫の度を深める中、安倍政権は3月25日の自民党大会で自民党改憲案を確定し、秋には改憲発議を強行することを狙っています。

歴史を画するこの時、戦争に反対し52年「国策」を阻んできた三里塚は、来る4月1日、全国の闘いと結んで安倍政権と対決する陣形をつくるべく、全国総決起集会を開催します。

高瀬裁判長は農地を奪うな！

この情勢下、市東さんの農地を守る闘いが文字通りの正念場を迎えていました。

私たちは、請求異議裁判、署名、地裁包囲デモと運動を繰り広げ、1年以上にわたって最高裁の農地取り上げ決定を打ち碎いてきました。その請求異議裁判で高瀬順久（よしひさ）裁判長は、弁論打ち切りへの策動をあらわにしています。この春から夏が裁判終結＝強制執行との決戦です。市東さんとともに、百年耕し



てきた農地を守る闘いの陣形をつくりましよう。決戦本部の呼びかけに応える取り組みと署名拡大への協力を訴えます。

“大地の乱”が始まった

1月22日の施政方針演説で安倍首相は、「羽田、成田空港の容量を世界最高水準の100万回にまで拡大」「2020年までに8万回の発着枠拡大を実現」と、首都圏空港機能拡張を明言するかつてない踏み込みを示しました。

第3滑走路建設をはじめとした成田空

港の機能強化案は、600戸の住民に移転を強制し、数千戸の住民に命を削る騒音被害をもたらすものです。何よりも戦争のための輸送・出撃基地、軍事使用が目的です。したがって、地域住民だけの問題ではありません。“大地の乱”が巻き起こっています。あまりにも住民を無視した計画に、次々と怒りの声が湧き、相次

いで「機能強化反対」の看板が立ち、住民が行動を開始しています。新たな住民決起との連帯を広げ、ともに「絶対反対」「白紙撤回」の大反乱を巻き起こしましょう。



体を張って戦争とめよう！

真に戦争・改憲を止める力は、「体を張ってでも止める」不屈の闘いです。4・1集会の会場＝栗山公園は、三里塚実力闘争への転換点である1968年2、3月闘争を闘った旧成田市営グラウンドです。68年から50周年を迎える今、あらためて「絶対反対」「実力闘争」の旗を高く掲げる時がきたのです。

「働き方改革」＝労働法制改悪と闘う、勤労千葉を先頭とした労働者の闘い、原発再稼働反対、「帰還」攻撃と闘う福島、辺野古新基地建設と闘う沖縄の怒りと一つになって改憲・戦争阻止を闘い、安倍政権打倒へ攻め上りましょう。すべての住民・市民運動、学生運動をたたかう皆さんのが参加を心から呼びかけます。ぜひお集まり下さい。

住民決起と連帯し、

機能強化案白紙撤回へ！